

相互作用

他の薬剤との相互作用は、可能なすべての組み合わせについて検討されているわけではありません。本剤は併用薬剤と相互作用を起こすことがあるため、服薬中のすべての薬剤を確認してください。また、本剤で治療中に新たに他の薬剤を服用する場合、事前に相談するよう患者にご指導ください。

併用禁忌薬

本剤と、これらの薬剤の併用は禁忌です。

薬効分類	薬剤名等	効能又は効果
抗結核薬	□リファブチン (ミコブテイン)	●結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症、HIV感染患者における播種性MAC症の発症抑制
	□リファンピシン (リファジン)	●肺結核及びその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症、ハンセン病
抗真菌薬	□ボリコナゾール※ (ブイフェンド)	●各種重症又は難治性真菌感染症 ●造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防
抗悪性腫瘍薬	□ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期） (ベネクレクスタ)	●再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む） ●急性骨髓性白血病
	□アパルタミド (アーリーダ)	●遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌 ●遠隔転移を有する前立腺癌
鎮痛薬	□アンピロキシカム※ (フルカム)	●各種疾患並びに症状の鎮痛、消炎
	□ピロキシカム※ (バキソ、フェルデン)	●各種疾患並びに症状の消炎、鎮痛
高脂血症治療薬	□ロミタピドメシル酸塩 (ジャクスピッド)	●ホモ接合体家族性高コレステロール血症
子宮収縮薬	□エルゴメトリンマレイン酸塩※	●子宮収縮の促進ならびに子宮出血の予防及び治療
	□メチルエルゴメトリンマレイン酸塩※ (パルタン)	●子宮収縮の促進ならびに子宮出血の予防及び治療
抗凝固薬	□リバーオキサバン (イグザレルト)	【成人】●非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 ●静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制 【小兒】●静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制
降圧薬	□オルメサルタン メドキソミル・アゼルニジピン (レザルタス配合錠)	●高血圧症
	□アゼルニジピン (カルプロック)	●高血圧症
抗不整脈薬	□アミオダロン塩酸塩 (アンカロン)	●生命に危険のある次の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合：心室細動、心室性頻拍、心不全（低心機能）又は肥大型心筋症に伴う心房細動
	□ベブリジル塩酸塩水和物※ (ベブリコール)	●持続性心房細動、頻脈性不整脈（心室性）で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合 ●狭心症
	□フレカイニド酢酸塩 (タンボコール)	●下記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合 【成人】頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、心室性） 【小兒】頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）
	□プロパフェノン塩酸塩※ (プロノン)	●頻脈性不整脈で他の抗不整脈薬が使用できないか又は無効の場合
	□キニジン硫酸塩水和物	●期外収縮（上室性、心室性） ●発作性頻拍（上室性、心室性） ●新鮮心房細動、発作性心房細動の予防、陳旧性心房細動 ●心房粗動 ●電気ショック療法との併用及びその後の洞調律の維持 ●急性心筋梗塞時における心室性不整脈の予防

薬効分類	薬剤名等	効能又は効果
肺高血圧症治療薬	□シルデナフィルクエン酸塩(レバチオ)	●肺動脈性肺高血圧症
	□タダラフィル(アドシリカ)	●肺動脈性肺高血圧症
	□リオシグアト(アデムパス)	●外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓塞栓性肺高血圧症 ●肺動脈性肺高血圧症
抗精神病薬	□プロナンセリン(ロナセン)	●統合失調症
	□ルラシドン塩酸塩(ラツーダ)	●統合失調症 ●双極性障害におけるうつ症状の改善
	□ピモジド	●統合失調症 ●小児の自閉性障害、精神遅滞に伴う諸症状
催眠鎮静薬 抗不安薬	□クロラゼパム二カリウム(メンドン)	●神経症における不安・緊張・焦躁・抑うつ
	□エスタゾラム(ユーロジン)	●不眠症 ●麻醉前投薬
	□フルラゼパム塩酸塩(ダルメート)	●不眠症 ●麻醉前投薬
	□トリアゾラム(ハリシオン)	●不眠症 ●麻醉前投薬
抗てんかん薬	□ホスフェニトイナトリウム水和物(ホストイン)	●てんかん重積状態 ●脳外科手術又は意識障害(頭部外傷等)時のてんかん発作の発現の抑制 ●フェニトイントを経口投与しているてんかん患者における一時的な代替療法
頭痛治療薬	□エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン(クリアミン)	●血管性頭痛、片頭痛、緊張性頭痛
麻酔薬 抗てんかん薬	□ミダゾラム(ドルミカム、ミダフレッサ)	【ドルミカム】●麻醉前投薬 ●全身麻酔の導入及び維持 ●集中治療における人工呼吸中の鎮静 ●歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静 【ミダフレッサ】●てんかん重積状態
抗不安薬 抗てんかん薬	□ジアゼパム※(セルシン、ホリゾン)	●神経症における不安・緊張・抑うつ ●うつ病における不安・緊張 ●心身症における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ ●脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛における筋緊張の軽減 ●麻醉前投薬 ●てんかん様重積状態におけるけいれんの抑制(注射剤)
抗てんかん薬	□カルバマゼピン(テグレトール)	●精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作:強直間代発作(全般痙攣発作、大発作) ●躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態 ●三叉神経痛
	□フェノバルビタール(フェノバール)	●不眠症 ●不安緊張状態の鎮静 ●てんかんのけいれん発作:強直間代発作(全般けいれん発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む) ●自律神経発作、精神運動発作
	□フェニトイント(ヒダントール、アレビアチン)	【経口薬】●てんかんのけいれん発作:強直間代発作(全般けいれん発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む) ●自律神経発作 ●精神運動発作 【注射薬】●てんかん様けいれん発作が長時間引き続いて起こる場合(てんかん発作重積症) ●経口投与が不可能でかつけいれん発作の出現が濃厚に疑われる場合(特に意識障害、術中、術後) ●急速にてんかん様けいれん発作の抑制が必要な場合
片頭痛治療薬	□エレトリプタン臭化水素酸塩(レルパックス)	●片頭痛
	□ジヒドロエルゴタミンメシリ酸塩	●片頭痛(血管性頭痛) ●起立性低血圧
勃起不全改善薬	□バルデナフィル塩酸塩水和物※(レビトラ)	●勃起不全
その他	□セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品(ハーブティー、サプリメントなど)	

※添付文書に記載されている効能又は効果と異なる表現が含まれています。
各薬剤の効能又は効果を含む詳細については、最新の添付文書をご確認ください。

併用注意薬

本剤と、これらの薬剤を併用する場合には、注意してください。

薬効分類	薬剤名等
□抗菌薬	クラリスロマイシン、エリスロマイシン
□抗HIV薬	ジドブシン、ネビラピン、エファビレンツ、エトラビリン、その他のHIVプロテアーゼ阻害薬（アタザナビル硫酸塩等）、マラビロク
□抗C型肝炎ウイルス薬	グレカプレビル水和物・ピブレンタスピル
□抗真菌薬	ケトコナゾール※、イトラコナゾール、ミコナゾール、フルコナゾール、ホスフルコナゾール
□抗寄生虫薬	キニーネ
□抗悪性腫瘍薬	ダサチニブ水和物、ゲフィチニブ、ニロチニブ塩酸塩水和物、ビンカアルカロイド系抗悪性腫瘍薬（ビンプラスチン硫酸塩、ビンクリスチン硫酸塩等）、イリノテカン塩酸塩水和物、タモキシフェンクエン酸塩、トレミフェンクエン酸塩、エベロリムス、イブルチニブ、エンコラフェニブ、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の維持投与期、急性骨髓性白血病）、アファチニブマレイン酸塩
□副腎皮質ステロイド	デキサメタゾン、フルチカゾンプロピオン酸エステル、ブデソニド、トリアムシノロンアセトニド
□麻薬性鎮痛薬	フェンタニル、フェンタニルクエン酸塩
□免疫疾患治療薬	エベロリムス、シクロスボリン、タクロリムス水和物
□高脂血症治療薬	アトルバスタチンカルシウム水和物、シンバスタチン、ロスバスタチンカルシウム
□痛風治療薬	コルヒチン
□経口避妊薬	エチニルエストラジオール
□女性ホルモン製剤	エストラジオール安息香酸エステル
□抗凝固薬	ワルファリンカリウム
□降圧薬	アムロジピンベシル酸塩、ジルチアゼム塩酸塩、フェロジピン、ニカルジピン塩酸塩、ニフェジピン、ニトレジピン、ニルバジピン
□抗不整脈薬	リドカイン塩酸塩、ベラパミル塩酸塩等
□ジギタリス製剤	ジゴキシン
□肺高血圧症治療薬	ボセンタン水和物
□気管支拡張薬	サルメテロールキシナホ酸塩、テオフィリン
□腸運動抑制薬	ロペラミド塩酸塩
□抗精神病薬	クエチアピンフル酸塩
□抗うつ薬	トラゾドン塩酸塩
□抗不安薬	アルプラゾラム
□抗てんかん薬	ラモトリギン、バルプロ酸ナトリウム
□パーキンソン病治療薬	プロモクリプチンメシル酸塩
□局所麻醉薬	リドカイン
□勃起不全改善薬	シルデナフィルクエン酸塩（バイアグラ）、タadalafil（シアリス、ザルティア）
□その他	タバコ

※経口剤は国内未販売
各薬剤の効能又は効果を含む詳細については、最新の添付文書をご確認ください。